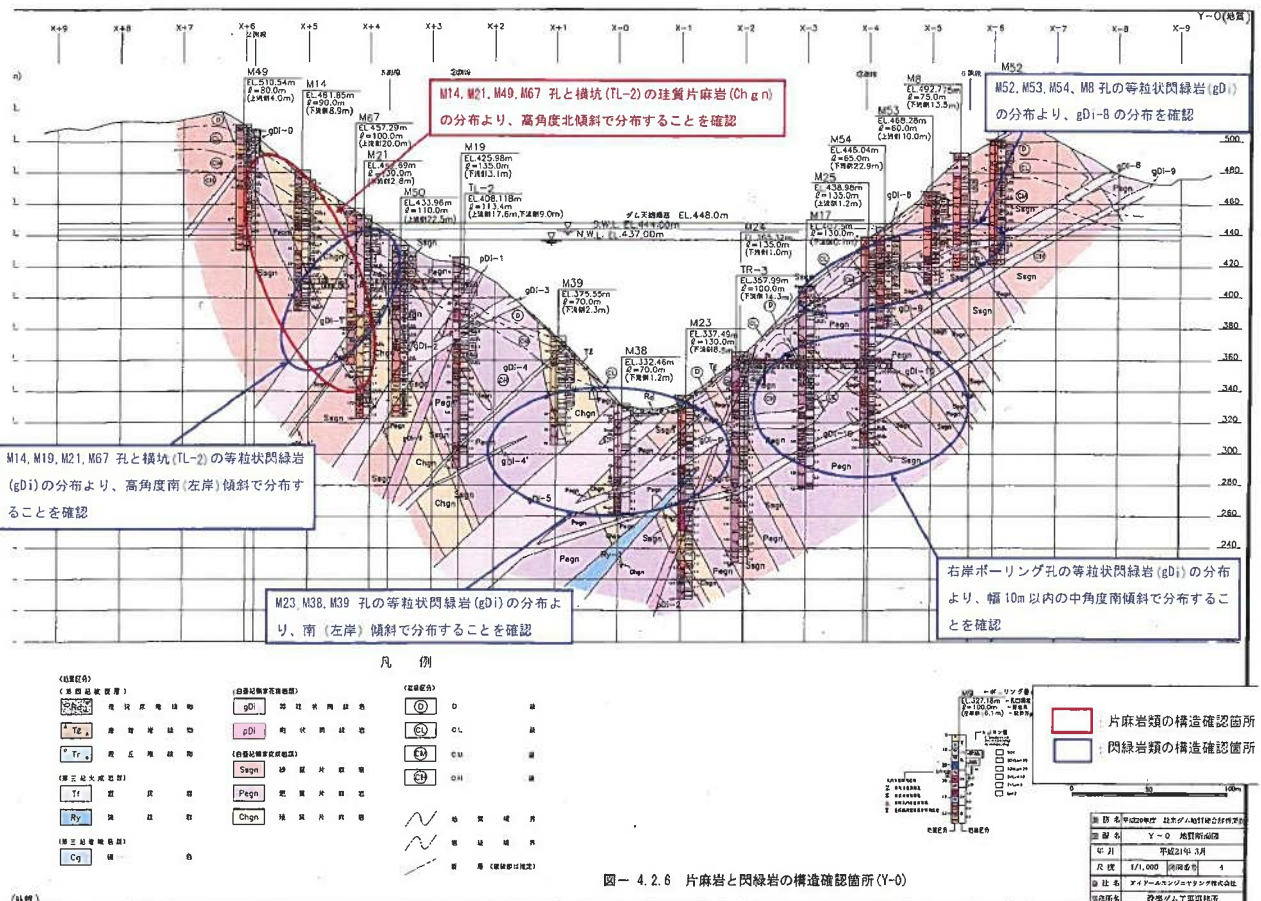
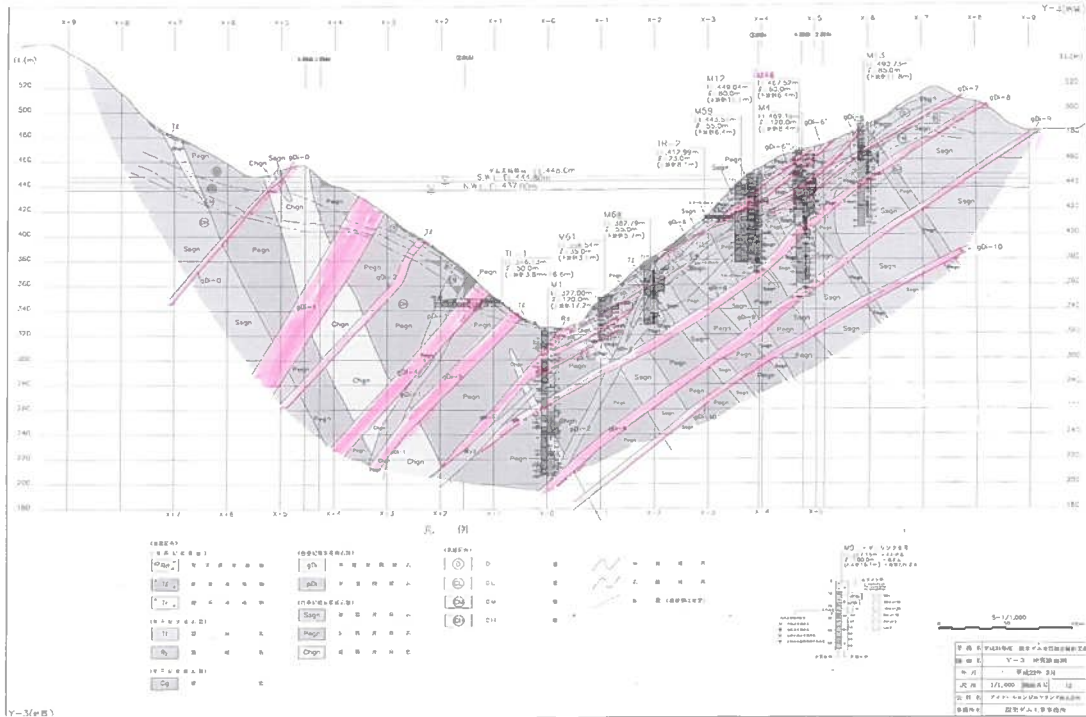


基盤は北傾斜、貫入岩は南傾斜 しかも貫入岩(閃緑岩)はマサ化(Y-3)



貫入岩のフェンスター(窓)構造

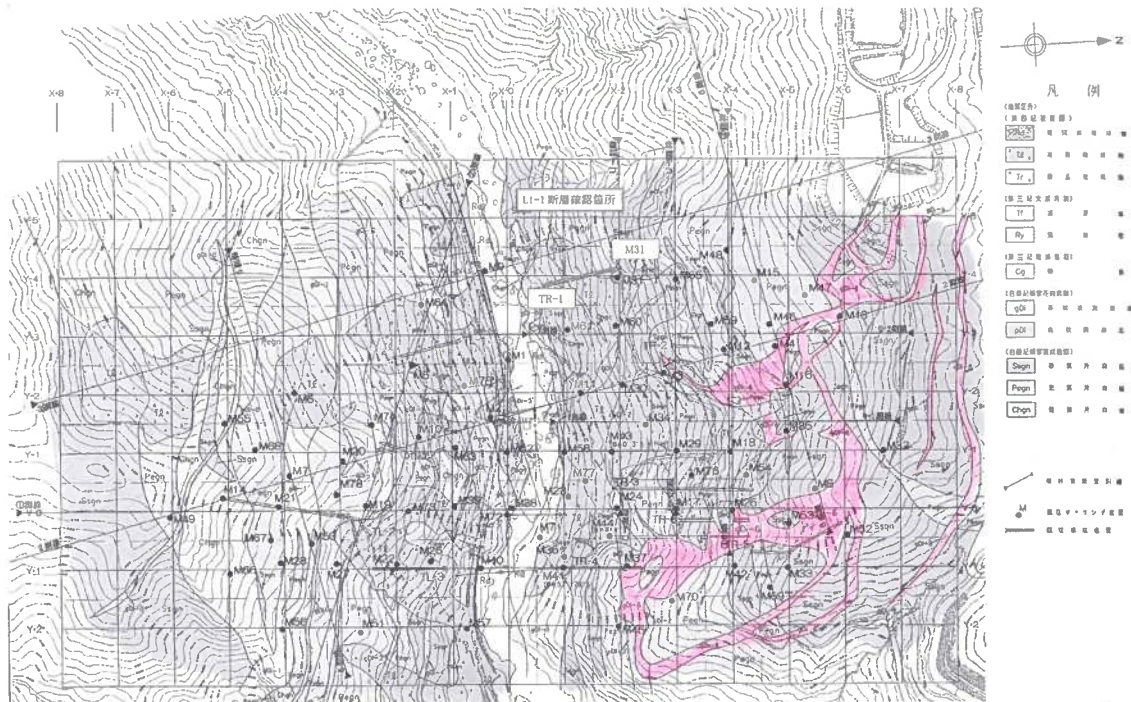


図-4.4.25 Lf-1 新層群露出位置図

「緩みゾーン」の検討

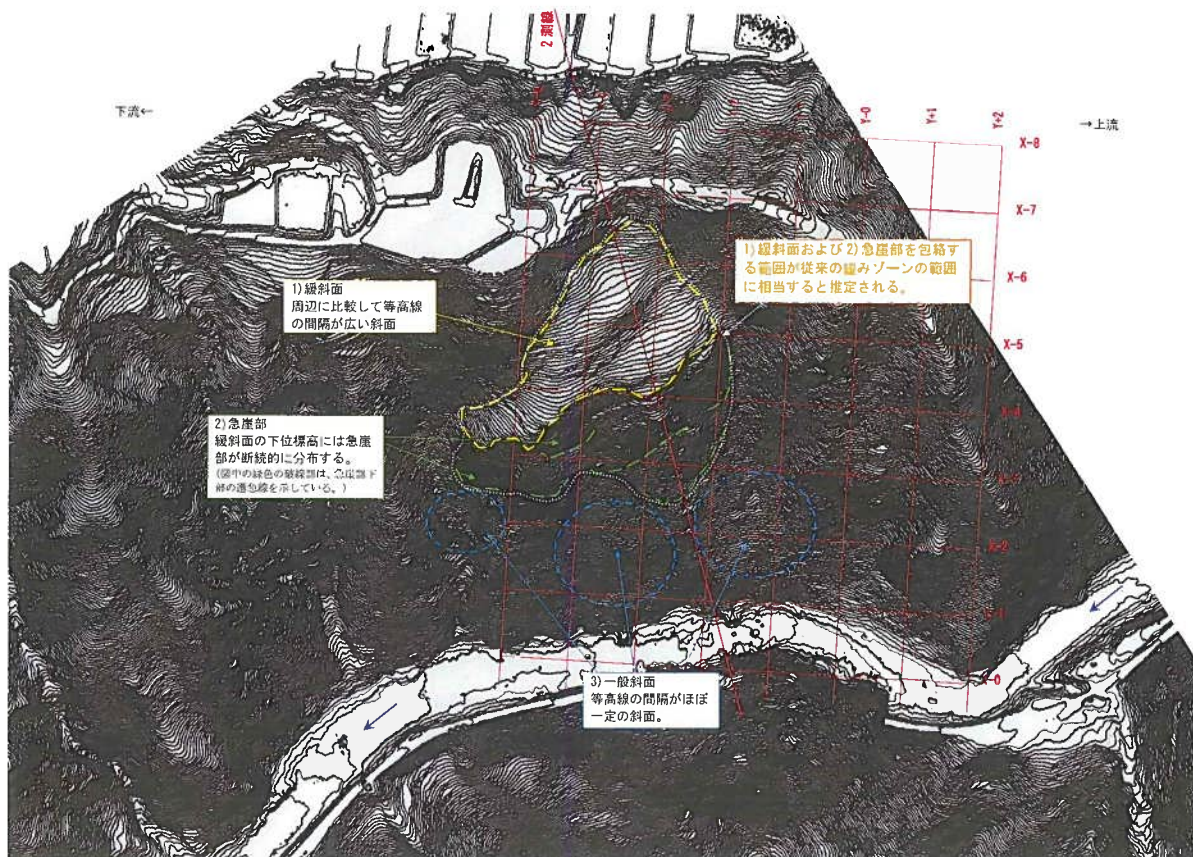
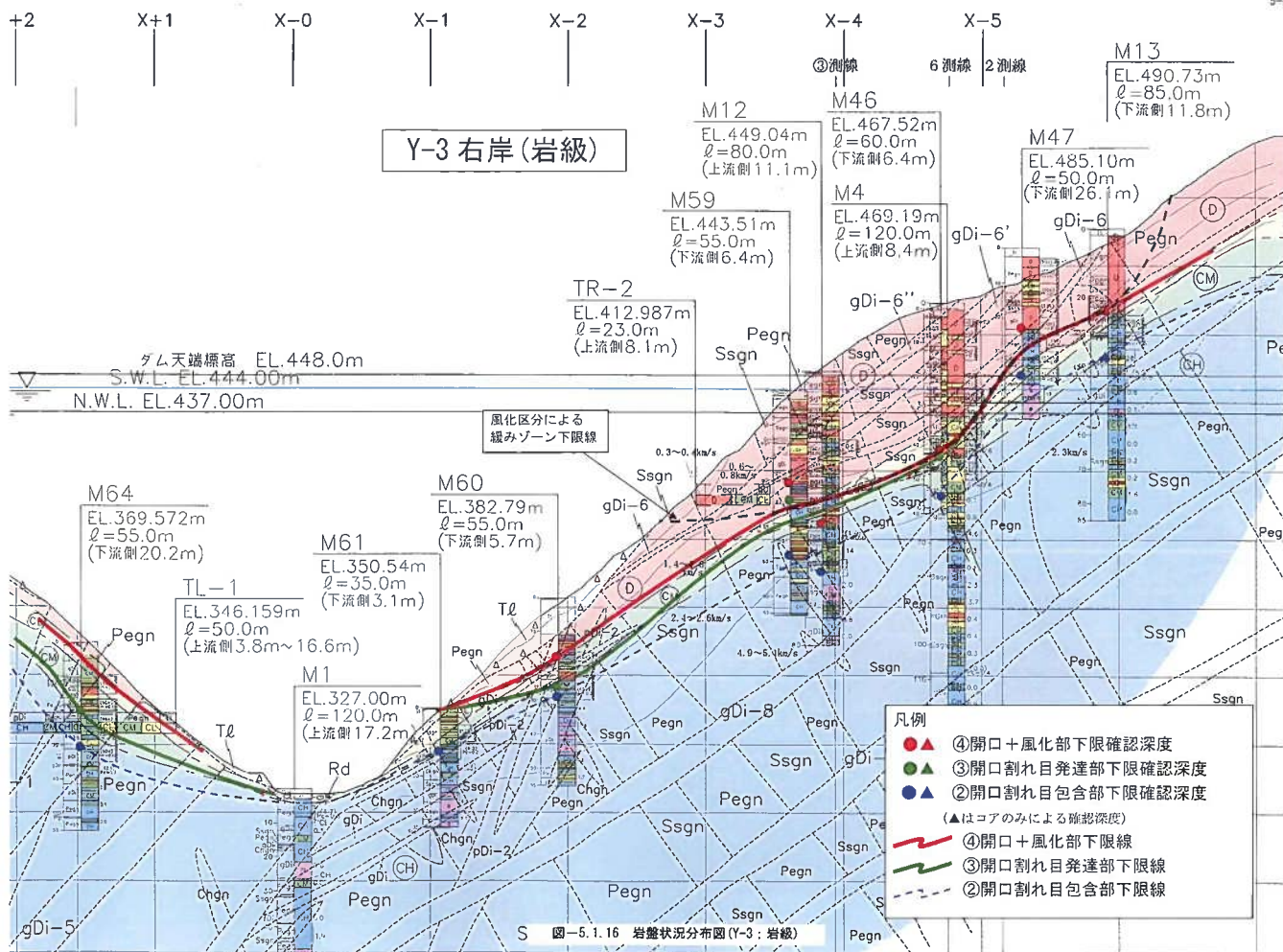
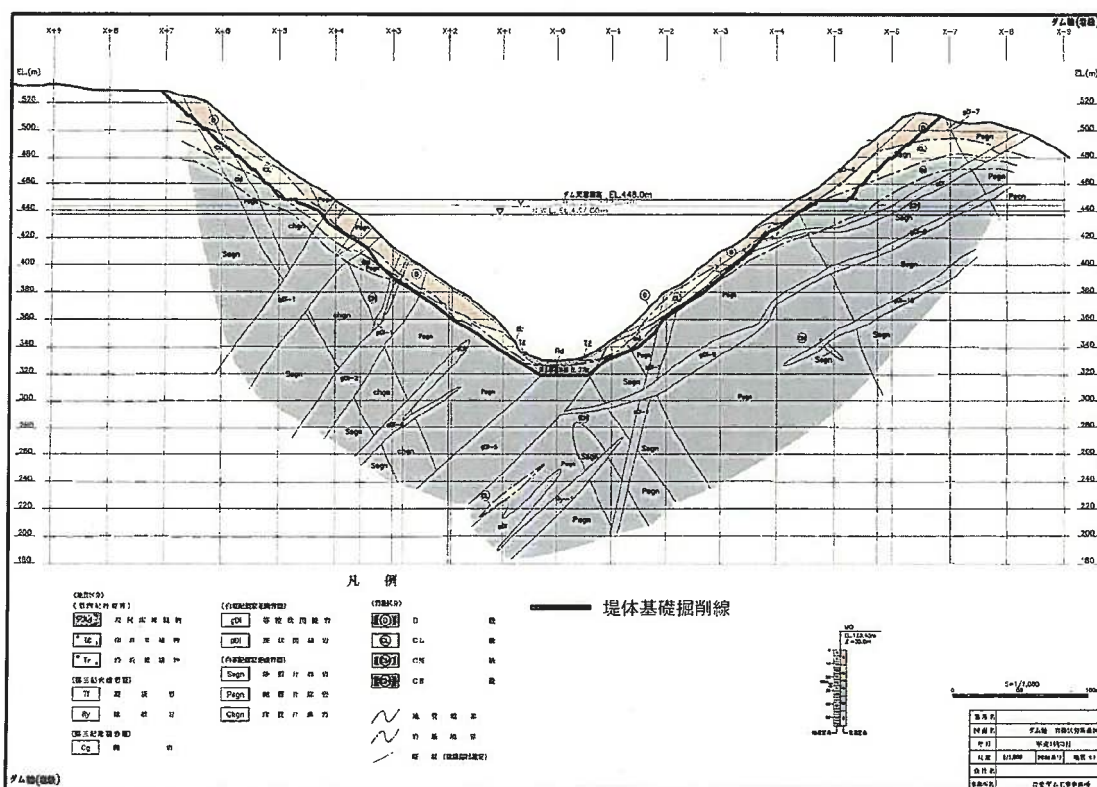


図-5.1.1 ダムサイト右岸の地形状況(レーザープロファイラー等高線図)



乙132号証(H23.7.13) 愛知県知事に対する国交省回答



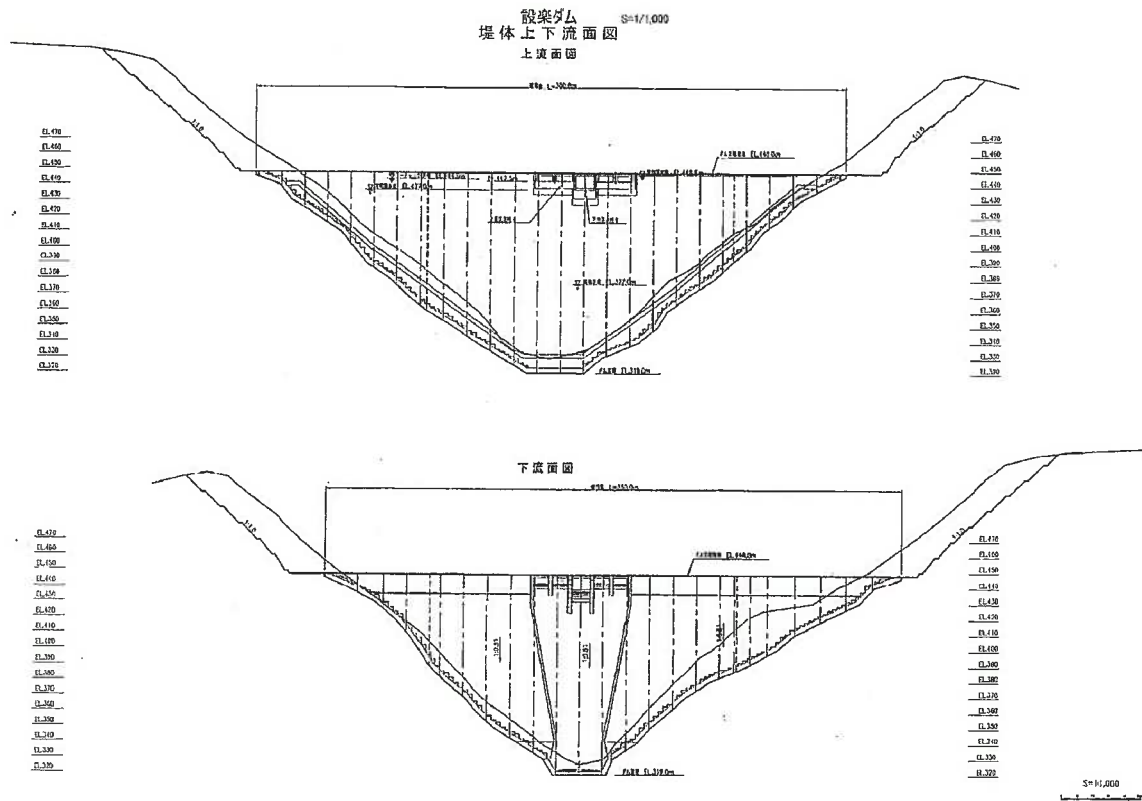


図-4 ダム上下流断面図

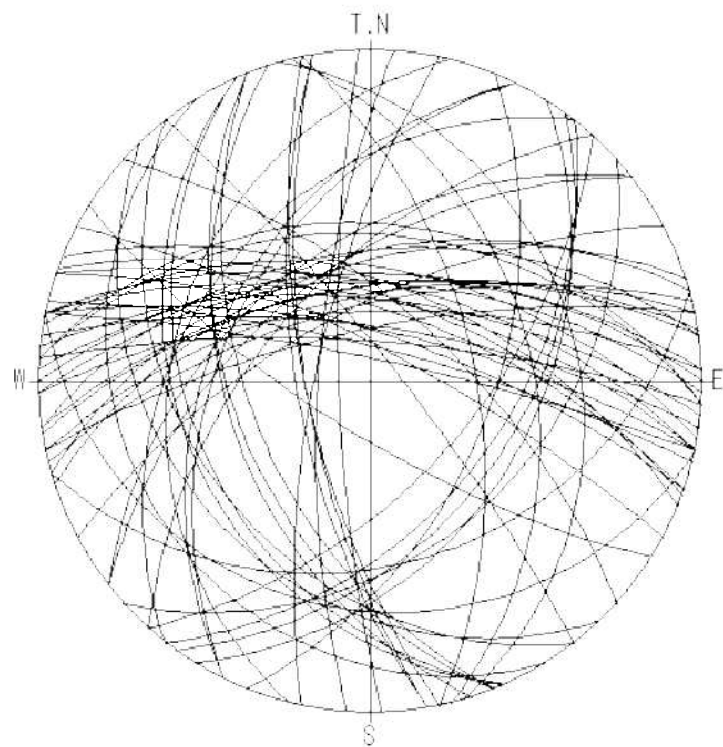
報告書に見られる問題点

- 岩盤等級はCh級で可とする
- 断層は低角断層とその連続性及び断層粘土・熱水変質のみ問題とする
- マサ化した貫入岩(二次的流れ盤)を軽視
- 地下水位を浅く見積もっている
- 孔内傾斜計は測定 of 最初と最後の差で比較し、変化を見ない
- 開口亀裂は10mm/mで安全とする

亀裂の解析法



TR-3の地質分離面の大円表示



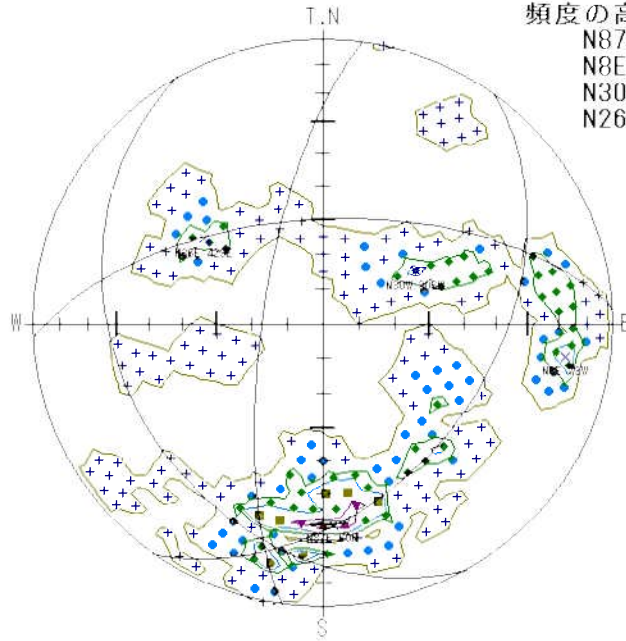
深度： 0.000 ~ 99.000(m)
開口量： 0.00 ~ 50.00(mm)
区分： 12 / 12
形状： 13 / 13
状態： 5 / 5
備考： 28 / 28

データ数： 67/67
投影法： ウルフ 下半球(L.H)

TR-3の地質分離面のカウントダイヤグラム

頻度の高い地質分離面

- N87E 60N
- N8E 73W
- N30W 30SW
- N26E 42SE



深度: 0.000 ~ 99.000(m) データ数: 67/67
 開口量: 0.00 ~ 50.00(mm) 投影法: シュミット 下半球(L.H)

区分: 12 / 12
 形状: 13 / 13
 状態: 5 / 5
 備考: 28 / 28

<凡例>(個数)	コンター値(個数)
▲: 7個	コンター-1: 1個
▼: 6~7個	コンター-2: 3個
■: 4~6個	コンター-3: 4個
◆: 3~4個	コンター-4: 6個
●: 1~3個	コンター-5: 7個
+: 1~1個	

孔内傾斜計のデータ(-10.02m)

孔内傾斜計深度別変動方向図 M46(10.02m)

